

科目名	基礎看護学特論Ⅰ			分野・必選別・単位数	専門科目 (基礎看護学)	選択必修	2単位
担当教員	◎准教授 新井直子 准教授 砂見緩子 准教授 伊豆上智子						
課程	博士後期	配当年次	1年	配当学期	前期	授業方法	講義
授業の概要	基礎看護学は看護という現象を理解するための学問領域である。看護の目的、活動、看護の対象者と提供者、看護の目的を達成するために提供される看護技術などをその内容として含んでいる。ここでは研究遂行能力や課題発見能力、研究に向かう姿勢を養うことを目的に、自己の研究課題に関する学術情報の活用を通して、課題の学問的背景や研究の意義を明確にする。						
授業の到達目標	1. 関心領域に関する基本文献を抄読することができる。 2. 自己の研究課題を絞り込み記述することができる。						
授業計画	回数	担当者		行動目標			
	1	新井 直子	准教授	科目概説: 科目の概要を理解し、今後の計画を立案できる。			
	2	新井 直子 砂見 緩子 伊豆上智子	准教授 准教授 准教授	研究者として研究に向かう姿勢について説明することができる。			
	3			自己の研究課題の背景および現象について説明することができる。			
	4			自己の研究課題の背景および現象について説明することができる。			
	5			自己の研究課題の背景および現象について説明することができる。			
	6			自己の研究課題に関連する文献検討を行い評価することができる。 自己の研究課題の学問的背景や研究の意義を明確化することができる。			
	7						
	8						
	9			文献検討に基づいた自己の研究課題の概念枠組みを作成することができる。			
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	文献検討についてのプレゼンテーションを行えるよう、また、他者のプレゼンテーションを通して、ディスカッションができるよう、各自準備する。					
	【事後学修】	授業中の疑問点および課題をまとめ、文献等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。					
教科書	特に定めない。						
参考書	酒井邦嘉: 科学者という仕事 獨創性はどのように生まれるか, 中公新書, 2006.						
成績評価の方法および基準	プレゼンテーションの内容と方法: 50% (妥当性・適切性・批判的思考・課題への示唆・資料の作成) レポート: 50% (論理性・一貫性・適切性) 課題—私の研究課題の学問的背景と研究の意義 以上で評価する。						
その他履修上の注意事項	学生の進捗により、変更することがある。 レポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行うので活用すること。 カリキュラムマップのDP1が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示しているのを確認すること。						